

# Fukushima with a SMILE!

つながる東北



ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま  
久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて  
福島県の魅力を発信していきます。

Mar.2026 Vol.87

## 東日本大震災追悼復興祈念式

あの日から15年。ともに祈り、想いつなぎ、未来へ。

# 3.11



震災により犠牲となられた  
御霊に深く追悼の誠を捧げ、  
そして復興への想いで  
ふくしまがひとつになる瞬間。

### 令和 8年 3月 11日 水 14:30 ~ 15:50

会場：パルセいいざか 主催：福島県 共催：福島県市長会・福島県町村会

祈念式の模様は動画配信を行います

オンライン  
献花

多くの方々に、追悼や復興の祈念をしていただくため、  
令和 8年 3月 1日 ~ 24日、オンライン献花サイトを開設します。  
ぜひ、皆さんの想いを伝えてください。



# 東邦銀行若手行員 福島の“いま”を視察!

東日本大震災・原子力災害から14年が経過した福島の状態を知り、「復興への想い」を新たにするため、地元金融機関である株式会社東邦銀行は、福島県と連携し、若手行員による相双地域の企業等の視察を行いました。

## 東日本大震災・ 原子力災害伝承館



### ～震災の教訓を未来へ～

実物資料や映像展示、被災者の証言を通じて、原発事故が地域の暮らしに及ぼした影響の深さを強く実感しました。建設当時の学生の作文やポスターからは、原発に対して地域が大きな期待を寄せていたことが窺え、原発に対するリスクの捉え方が時代や社会環境によって大きく変わってきたことを実感しました。

今後は震災と原子力災害の教訓を正しく理解し、地域の再生や将来への備えに寄り添っていく姿勢を大切にしたいです。



木村 太紀

## 震災遺構 浪江町立請戸小学校



### ～過去に学び、未来に備える～

現在も請戸小学校の校舎は、1階が浸水・破壊され、内部の部品も損壊したまま残されています。津波の恐ろしさ、一瞬にして日常生活が失われた悲しさを校舎をみて感じました。展示物には大震災の経験や教訓、母校への思いをテーマとした作文があり、地域と共に歩んだ思い出が記載されていました。

今回の研修を通して、避難計画と備えの重要性を学び、困っている人を見つけたら力になりたいと思いました。



小野 有紀

## 有限会社柴栄水産



### ～地域に寄り添う銀行員に～

震災後9年間の休業を経て事業再開を果たされた歩みに深く感銘を受けました。自社だけでなく「請戸漁港の誇りを取り戻す」という復興に懸けた思いは、福島の産業復活の象徴だと感じました。再建を支えた金融機関の支援が一企業の再生を超え、地域全体の希望に繋がるということを再認識する、貴重な経験になったと思います。今後も一銀行員として、お客様に寄り添い、福島の復興および発展に努めていきたいです。



尾形 夏音

## 福島水素エネルギー 研究フィールド



### ～世界に誇る研究拠点～

かつて原子力発電所の事故により甚大な被害を受けたものの、復旧・復興が進み世界最大級の水素製造施設が誕生し、再生可能エネルギーの発展に貢献しているところに感銘を受けました。また、敷地内の様々な設備を目の当たりにし、水素社会の実現に向け、日本や世界を牽引していく存在であると同時に、被災地の復興や未来に向けたシンボルになっているように感じました。今後も地域経済を支える銀行員の一員として、被災地の復興をはじめとする福島県の発展に貢献できるよう精進していきます。



菊地 朝仁



すべての地域のために

東邦銀行



福島県



ペコ太郎

発行：ふくしま応援隊

株式会社社久設計